

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	コンバルホール						
	所在地	大分市府内町1丁目5番38号						
	設置目的	市民文化の創造に寄与するとともに、市民生活の向上を図るため						
指定管理者	施設の建築年 (又は事業開始年)	昭和60年度						
	名称	コンバルホール共同事業体						
	代表者名	代表構成員コンベンション・リンケージ 代表取締役 平位 博昭						
指定管理業務の内容	所在地	東京都千代田区三番町2番地						
	内容	①コンバルホールの使用許可に関する業務 ②コンバルホールの使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③コンバルホール(大分市民図書館コンバルホール分館・大分中央公民館・大分市男女共同参画センターを含む。)の施設及び設備の維持に関する業務 ④コンバルホールの利用促進及び文化とスポーツの振興を図る業務 ⑤教室・講座、イベント等の自主事業の実施に関する業務 ⑥その他コンバルホールの運営管理に関して市長等が必要と認める業務						
	料金体系	【文化ホール】15,730円～70,780円 【多目的ホール】14,520円～65,340円 【会議室】360円～1,210円 【体育室】1,210円(全部使用・1時間あたり) 等						
利用料金制	導入済	選定方法			公募			
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)			導入年度		平成23年度		
利用者数(単位:人)		R5年度 目標④		619,500		達成率 ①/④		76%
22年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度③	R5年度①	22年度比 ①-②	R4年度比 ①-③	
541,857	568,389	262,389	292,335	354,007	469,360	▲72,497	115,353	
管理運営経費の削減額(直営比較時)(単位:千円)								
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度28年(c)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)-(b)	前指定期間比較 (a)-(c)	
159,200	137,808	182,692	184,353	153,781	142,038	▲17162	4230	
利用者満足度(%)		満足	やや満足	配置職員数(人)		直営時又は導入1年目	令和5年度	
		97	-			28	20(事務局)	

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント								
1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組								
(1) 施設の設置目的の達成								
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。								
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。								
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。								
【評価の理由】 令和5年度利用者数(目標)615,000人(令和元年度:601,000人、令和2年度:620,000人、令和3年度:619,500人、令和4年度:619,500人) 令和5年度利用者数(実績)469,360人(令和元年度:568,389人、令和2年度:262,423人、令和3年度:292,335人、令和4年度:354,007人) ○目標数値の達成は出来なかったが、利用者数は令和4年度より115,353人増加しており、回復傾向で推移している。 ○Facebook、Instagramにて情報発信を行っている。 ○利便性を高めるため、老朽化している備品更新に努めている。								
(2) 利用者の満足度								
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。								
②サービスの質や量は向上しているか。								
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。								
④利用者への情報提供が十分になされたか。								
【評価の理由】 令和5年度アンケート結果 ○利用者アンケート(10月・3月の2回実施、サンプル数合計408)「受付対応について」とても良い/良いの割合は97.0%で、目標の81%を達成(令和元年度:86.0%、令和2年度:81.1%、令和3年度:86.5%、令和4年度:96.7%) ○自主事業満足度アンケート(サンプル数3,765)満足度平均95.1%(令和元年度:96.0%、令和2年度:96.0%、令和3年度:94.0%、令和4年度:95.4%) ○「退出時アンケート」にて苦情・意見・要望の把握に努め、受付窓口等で承ったものと併せて全て翌月次報告にて対応を報告している。 以上より受付対応から自主事業に及びまで高い水準で満足を得られており、利用者の意見に真摯に対応していると評価できる。								
2 効率性の向上等に関する取組								
(1) 経費の低減等								
①施設の管理運営において経費の縮減が図られているか。								
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。								
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。								
【評価の理由】 ○令和5年度の消耗品・印刷製本費・光熱水費は48,607,012円であり、昨年度より減少している。 (令和元年度:47,262,114円、令和2年度:39,919,321円、令和3年度:46,379,283円、令和4年度:59,240,039円) ○施設の老朽化に伴う備品、消耗品等の交換を迅速に行い市民ニーズに対応出来た。また可能な限り安価な物を購入するなどとして経費削減に努めていた。								
(2) 収入の増加								
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。								
【評価の理由】 ○令和5年度の実績は283,048,194円であった。令和4年度より利用料金収入、事業収入ともに増加している。これは継続的に自主事業等の実施に努めた結果であるとして評価できる。 (令和元年度:298,841,786円、令和2年度:282,505,512円、令和3年度:300,232,780円、令和4年度:279,830,526円) ○通年、利用者のニーズに応じた様々な内容の教室・講座を開催していることも、収入増加の取組として評価できる。								

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	
(1) 施設の管理運営の実施状況	
①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。	
②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。	
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	
【評価の理由】 ○正社員とパートを事業計画書に基づき配置し、必要な資格者も適正に配置している。また、過去の実績に基づき従業員のシフトを組んで、従業員の休暇取得にも配慮している。 ○基本研修(マナー、接遇、苦情対応や介助人権等)や専門研修(自主事業企画運営)、外部講習(修了証取得含む)を実施し、スタッフのスキルアップを図っている。 ○毎月第1水曜日に四館実務者定例会議を実施し、連絡事項や共通課題、相互連携等について協議している。 ○障害者就労支援団体と連携した「ふない天神町こえん市」や「コンバルホール合唱団育成事業」など市民参加型の自主事業や働く場の創造支援を行い、地域活性化に寄与している。	
(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など	
①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)の遵守等に遺漏はないか。	
②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。	
③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。	
④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。	
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	
⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。	
【評価の理由】 ○法令の遵守に配慮し、第三者委託や事業計画等の変更について市の承認を得てから実施している。 ○受付マニュアル、安全管理マニュアル、緊急時対応マニュアル等を整備・適宜更新し、市民の平等な利用の確保や事故発生、非常災害時における対応フローを確立している。 ○定期的に消防・防災訓練ならびに安全研修を実施しており、対応フローの共有や消防設備配置・避難経路の確認を直営施設(図書館・公民館・男女センター)を含むコンバルホール全体で行っている。 ○不具合や故障発生に起因する修繕案件は事前に事象発生時の報告書提出があり、対応決定後月次報告書内で報告、適切に実施している。また、日常点検結果や利用者のご意見を踏まえて早急に対応している。	

【総合評価】

【今後の対応】
分野別の利用者アンケートや館長ポスト等様々な形で利用者の苦情・要望・意見の把握に努めており、評価指標のあるアンケートで高評価を受けていることから、その姿勢が広く利用者に評価されていることがうかがえる。 また、検討や対応完了の段階で漏れなく所管課へ相談や報告があり、密な連携がとれていることも適切な対応・利用者サービスの維持向上に努めていると評価できる。 近年は施設の老朽化に伴うトラブル発生や改修工事に伴う現場の調整・管理、利用者への対応等が発生しており、企画業務が圧迫されている。スタッフの適正な労働環境を維持するとともに、新規事業への人員確保等に工夫・検討に努める必要がある。
【今後の対応】
施設の老朽化に伴う設備補修など、近年は事後保全の対応件数が増加している。施設の維持管理に必要な不可欠な設備については計画的に更新を行うなど予防保全への取り組みを強化する必要がある。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
<ul style="list-style-type: none"> 経営改善の為、指定管理者による提携先の開拓を積極的に行ってほしい。 ホールとしての機能だけでなく、現在の市民ニーズを把握して利用目的への見直しを必要に応じて検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 大分県フェンシング協会、大分県サッカー協会、大分県障がい者スポーツ協会、大分市障害者就労支援協議会所属団体などの団体と連携して事業を実施した。今後も新たな提携先を積極的に開拓していく。 令和6年1月8日に今後の施設の利活用について意見を聞くワークショップを開催した。寄せられたご意見を今後の施設運営に反映させていきたい。

【R6年度 指定管理者評価部会の意見】

<ul style="list-style-type: none"> ①充足率100%に達していない講座があるため、指定管理者側と充足率の観点から随時見直しをされたい。 ②講座数が増えている反面利用者数が減っているため、原因の分析を指定管理者に対して確認されたい。 ③アンケートの質問において「利用のしやすさ」が重複しているため、より具体的な質問を設け、施設のより良い運営につながるようされたい。
